

ジェイ・マウンテンズ・セントラル株式会社

ヘブンスそのはら索道安全報告書

令和元年度版

(令和1年6月～令和2年5月)

園原12人乗りゴンドラリフト	通年運行(ナイトツアー・雲海ハーバー)
富士見台第2リフト	通年運行(雲海ハーバー)
富士見台第4リフト	通年運行
富士見台第7リフト	冬期運行

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃よりご利用とご理解を賜り、誠にありがとうございます。

当社、ジェイ・マウンテンズ・セントラル株式会社は、「安全輸送の確保」を企業行動指針の第一として掲げ、行動方針に従い全ての従業員は、みなさまに安心してマウンテン・レジャーを楽しんでいただけるよう法令遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、安全輸送の取組みと実態について、広くご理解頂くために公表するものです。

ジェイ・マウンテンズ・セントラル株式会社

代表取締役 白 澤 裕 次

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社は、経営理念の第一を安全確保とし、「安全基本方針」を次のように掲げ、事業に携わる全員に周知徹底を図っております。

- 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解すると共に、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いに努めること。
- 事故、災害等が発生した場合は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を行うこと。
- 情報は漏れのないよう迅速、正確に伝えること。
- 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること。

(2) 安全目標

当社の安全目標は、「索道に関する人身障害事故件数及び、設備不具合による運休日数ゼロ」を目標とします。令和元年度は1件の索道人身事故が発生してしまいました。次の項目で詳細をご案内いたします。設備不具合による運休はございませんでした。

3.事故の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故

1件の人身傷害事故が発生しました。

令和元年11月4日11時30分頃、ゴンドラにて下山のお客様2名(夫婦)が山麓停留所に到着し、扉が開き降車する際に、女性の足がもつれ転倒しました。

乗客係はお客様の行動と悲鳴で危険を察知し、非常停止ボタンを押して運転を停止させました。

転倒したお客様は、バランスを崩した勢いで停止した搬器の進行方向へ転倒、ホームから上半身が転落する形で転倒し負傷しました。

当社では、乗降の際、車いすのお客様、ベビーカーのお客様、乗降に不安のあるお客様には、山頂山麓間で連絡を密に取り、搬器を停止させ、乗降して頂いておりますが、該当のお客様は乗車の際は特に不安を感じないお客様でしたのでの搬器の停止指示連絡がありませんでした。

再発防止対策として、数日間の朝礼にて、搬器停止の連絡のないお客様でも、不意に転倒する場合があるので、係員は手を差し伸べてお客様の支えになることで、転倒を防止ができる。何時でも対応が出来るよう常に心の準備をしておくよう教育を行いました。

また、事件事例として各リフトへ事故報告書を配布し周知徹底させております。

(2) 災害

令和元年度は落雷災害により富士見台第2リフトが3.5日運休しました。

(3) インシデント(事故の兆候)

令和元年度インシデントの発生はありませんでした。

(4) 行政指導等

令和元年度の行政指導等はありません。

4. 安全輸送のための取組み

(1) 人材育成

① 各種索道研修会の参加

北陸信越山岳観光索道協会長野県地区部会技術研修会	(1日間)	2名
北陸信越運輸局主催 索道技術管理者研修会	(2日間)	2名
北陸信越索道協会長野地区部会主催 索道事故防止研修会	(1日間)	1名
日本ケーブルテクニカルセミナー(モーター・制御システム)	(3日間)	1名
日本ケーブルテクニカルセミナー(減速機構造・振動測定解析)	(3日間)	1名
フルハーネス型墜落制止器具特別教育	(1日間)	3名

ロープ高所作業特別教育

(1 日間) 2 名

② 社内研修会の実施

1 2月 15 日(日)オリエンテーション

(2 時間)新規スタッフ対象

1 2月 15 日(日)令和元年度索道研修会

(3 時間)索道スタッフ対象

(2) 緊急時対応訓練

12月15日(日)

・特殊索道救助訓練(富士見台第6リフト)

自社スタッフ全員

・普通索道救助訓練(園原12人乗りゴンドラリフト)

自社スタッフ全員

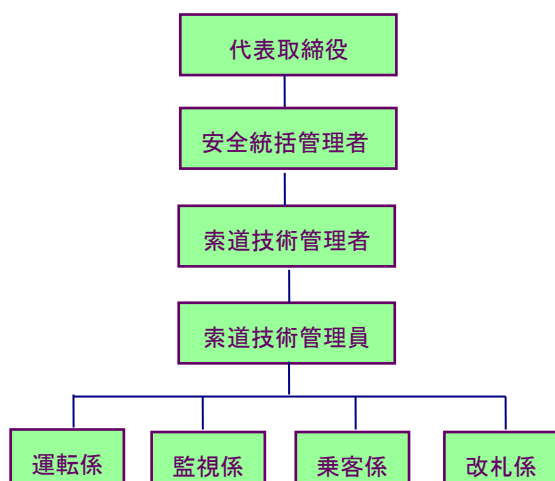
(3) 安全のための投資と支出

安全の維持、向上のため、下記のとおり修繕持を実施いたしました。

園原 12 人乗りゴンドラリフト	握索機 1 6 台分解整備 6 号、7 号支柱索受交換工事 無線機更新(デジタル化)
富士見台第 2 リフト	減速機、原動機、原動滑車軸組の オーバーホール交換工 油圧緊張制動油圧ユニットの更新

5. 当社の安全管理体制

代表取締役をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしております。また、各現場にて業務報告書を通じ、ヒヤリ・ハットや反省、気づき、改善提案等を索道技術管理者へ報告し、日々の業務に反映させております。



職 種	役 割
代 表 取 締 役	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を統括する。
索道技術管理員	索道技術管理者の業務を補助する。

6. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) ご意見ご感想をお寄せ下さい

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。お客様の声をかたちにし、お客様の期待に応えられるよう努めてまいります。お客様からお寄せいただいた声を真摯に受け止め、より信頼され、安全なサービスが提供できるように役立てます。

(2) 園原1 2人乗りゴンドラリフト及び各リフトご乗車時の注意事項

お客様の行動は、ゴンドラ及びリフトご利用のお客様全員の安全に関わっています。各々のご利用の際には、責任と義務が伴います。次のことを守ってください。

園原1 2人乗りゴンドラリフト

<乗車時>

- ① 客車への乗り降りに不安のあるお客様は、係員まで申し出て下さい。
- ② 最大乗車人員は1 2名となります。繁忙時は相乗りにご協力下さい。
- ③ 危険物の持ち込みは禁止させていただきます。
- ④ ペットは、ケージに入れて下さい。尚、ペットの乗車及びレンタルゲージは有料となります。
- ⑤ 客車と乗場ホームの間に、隙間ができます。足や手荷物等を挟まないようご注意ください。
- ⑥ 扉は自動で開閉しますが、足や身の回り品等を挟まないようご注意ください。
- ⑦ 乗車中は禁煙となります。所定の場所で喫煙願います。
- ⑧ 飲酒酩酊等、他のお客様にご迷惑をおかけすると判断した場合は、乗車をお断りすることがあります。

<乗車中>

- ① 客車を揺らさないで下さい。
- ② 緊急停止の際は、無線機のスイッチを入れ、お静かにお待ち下さい。
- ③ 出発時及び到着時には、客車が揺れます。転倒等にご注意下さい。

<降車時>

- ① 扉が開くまで、そのままお待ち下さい。
- ② 客車への乗り降りに不安のあるお客様は、係員に申し出て下さい。

リフト

<乗車時>

- ① リフトへの乗り降りに不安があるお客様は、係員まで申し出て下さい。
- ② 「すわるいち」でスキーを前に向け、同乗のお客様と並んでお待ち下さい。
- ③ 乗れなかったら、直ぐにリフトから離れて下さい。
- ④ ストック等が同乗のお客様に迷惑にならないようご注意ください。
- ⑤ 大きなリュックのお客様は前に掛けなおして下さい。
- ⑥ セーフティバーは係員が下ろします。深くイスに腰掛けて姿勢を正して下さい。

<乗車中>

- ① イスを揺らさないで下さい。
- ② イスから飛びおりないで下さい。
- ③ ストック等で柱や雪面等にさわらないで下さい。

④ リフト乗車中は禁煙となります。所定の場所で喫煙願います。

⑤ リフト乗車中は、身の回り品や物品の落下にご注意下さい。

<降車時>

① セーフティバーを上げる時に、同乗のお客様にひと声お掛け下さい。

② 終点が近づいたらストックの先端と、スキーの先端を上げて下さい。

③ 「おりるいち」で立ち上がり、降りた後は真直ぐ進み、次のお客様の迷惑にならないようにご注意下さい。

<その他>

係員の指示に従って下さい。

7. ご連絡先

安全報告書 へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里 3731-4

ジェイ・マウンテンズ・セントラル株式会社

富士見台高原ロープウェイ ヘブンスそのはら

ヘブンスそのはら SNOW WORLD

TEL(0265)44-2311 FAX(0265)44-2331

E-mail info@mt-heavens.com

